

令和3年度事業計画

概 況

令和2年度に特筆すべきこととして挙げられるのは新型コロナウイルスの感染拡大であります。3月から4月にかけて、消毒方法等の一般的な指導を求める電話の問い合わせが殺到し、協会ではその対応に忙殺されることとなりました。同時に協会に対する市民の皆さんの期待が極めて大きいことを強く実感いたしました。

その後、7月に入ったところ、活発な梅雨前線が本州付近に停滞し、曇りや雨の日が多く月平均気温は平年より低くなり、8月には勢力の強い太平洋高気圧に覆われた日が多くなったものの、その後、9月に入ると本州付近に前線が停滞し、曇りや雨の日が多くなりました。このような気候の影響か、協会が受ける7月から9月にかけての電話相談は昨年を1割以上下回る件数となりました。

一方、環境衛生に関する動向をみると、昨年暮れから春にかけて豚熱（CSF）関係の車両消毒業務を受託しておりましたが、ワクチン接種が始まると一気に沈静化したものの、県内・県外で豚熱（CSF）感染野生いのししの確認が報道され、予断を許さない状況が続いております。

また、横浜港の港湾施設ではヒアリ、アカカミアリが発見され、協会も関係業務を受託するなど、環境衛生のパートナーとして関係行政機関から当協会へ寄せられる期待はますます大きくなりつつあります。

公益社団法人神奈川県ペストコントロール協会は、協会設立以来の諸先輩方の努力の積み重ねもあり、協会の知名度も不十分とは言え徐々に市民に浸透しつつあり、県民の皆様との電話相談も増加傾向にあるといえます。また行政機関からも、感染症対策や自然災害発生時のパートナーとして一定の信頼を得られるようになってきたとの実感もあります。

しかしながら、競争の激化、後継者問題などPCO業界を取り巻く情勢は決して楽観できるものとは言えず、さらなる努力が求められているといえます。

協会では令和2年に設立50周年を迎えることができましたが、これを機に新たな飛躍を期すべく「協会の在り方」、「PCOの市民生活への一層の浸透」、「県・市町村など地方行政機関との連携の推進」、「PCO業務従事者の技術力の更なる向上」、「PCO業務の継承者の育成」、「空き家対策への参画」など様々な課題をテーマに検討を進めて参りたいと考えております。

令和3年度においては、以下の具体的事業を実施いたします。

事業内容

1 公衆衛生の向上を図るために

- (1) 公共機関、各種地域団体及び公益事業団体、業界団体並びに市民団体などとの連携強化
- (2) 感染症予防衛生隊の活用及び充実強化
- (3) 安全な生活環境を確保するための各種調査研究活動の充実・強化
- (4) 市民も参加できる各種講習会の開催
- (5) 地域社会における公衆衛生の推進強化

2 地域社会への浸透を図り、公益事業の強化を図るために

- (1) 害虫110番事業の機能強化
- (2) ホームページの効率的運用
- (3) 有害、不快生物等の同定・相談事業の実施
- (4) 有害・不快生物に関する防除の正しい知識の普及・啓発
- (5) 市民の知識を啓発するための「虫の日」イベント等の開催・参加
- (6) 公共機関、市民団体、業界団体等への講師の派遣

3 防除技術の向上を図るために

- (1) 技能師資格の普及・拡充
- (2) 技術関連講習会の充実強化による新たな課題への対応
- (3) 各種技術情報の収集・提供
- (4) IPM（総合的有害生物管理）に即した防除手法の普及・開発
- (5) 機関誌「情報発信 from かながわ」の発行
- (6) 各種学会への協賛・参加
- (7) 資料室・研修室の充実と活用の促進

4 協会の基盤強化のために

- (1) 組織の充実強化
- (2) 協会広報活動の強化
- (3) 会員を対象とした経営相談等の窓口開設の検討
- (4) 経営環境改善講習会の実施
- (5) 次世代型指導者の育成と支援
- (6) 会員相互の親睦、連携を図るための福利厚生事業の実施
- (7) 新規会員の加入促進